大野診療所：福島県

報告者 **大野悦人**

健康とは心や身体が良好であるのみならず、まわりに適合し生きがいをもって社会の中に在る事とされている。精神医療に携わる者として障がい者が生きがいをもって生きる為には医療のみならず福祉からの取り組みも必要欠くべからずものであると考えている。当診療所は外来診療、在宅診療、精神科デイケア、訪問看護等の医療系の事業を行っている医療法人であるが同じ町内の社会福祉法人と機能的姉妹関係にあり密接な連携を取っている。社会福祉法人は就労移行支援、就労継続支援（Ｂ）、生活介護、共同生活援助（グループホーム）等の事業を行っており、患者さんは、まず治療により病気に左右されず円滑な対人関係を持ち継続的に作業ができるようになった段階で社会福祉法人の提供する障がい福祉サービスを利用し、園芸、パンの製造販売、地域の老人サロンへの慰問活動、運営している認知症カフェへの参加等、地域にひらかれた活動を行い、これらが生きがいと喜びにつながっている。その他社会福祉法人においては生活困窮者、原発事故による避難者、障がい者を積極的に雇用し循環型の地域ケアシステムを構築しようとしている。当日はこれらについて発表を行いたい。